

令和7年度 全国学力学習状況調査 中学校版 【美作市 結果・概要】
美作市教育委員会 学校教育課

○平均正答率(中3) 割合(%)

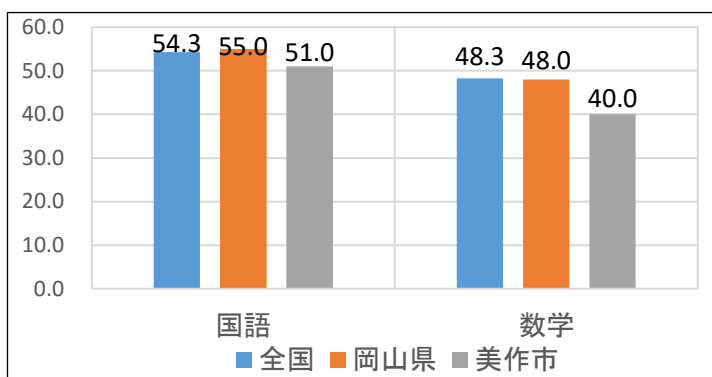
	国語	数学
全国	54.3	48.3
岡山県	55.0	48.0
美作市	51.0	40.0

【国語】

・【知識・技能】の平均正答率は、全国平均を0.1p上回り、【思考力・判断力・表現力等】は全国平均を3.8p下回った。

【数学】

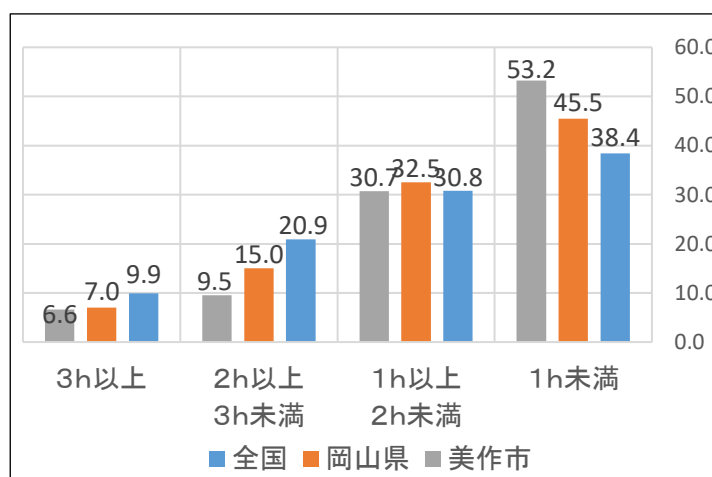
・【知識・技能】の平均正答率は、全国平均を6.7p下回り、【思考力・判断力・表現力等】は全国平均を9.6p下回った。



○平日の家庭学習時間(中3) 割合(%)

	1h未満	1h以上 2h未満	2h以上 3h未満	3h以上
全国	38.4	30.8	20.9	9.9
岡山県	45.5	32.5	15.0	7.0
美作市	53.2	30.7	9.5	6.6

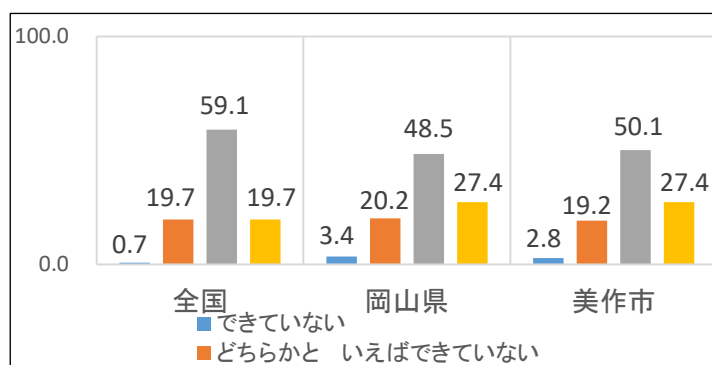
- ・1時間未満の割合が全国平均を大きく上回っている。昨年度(中学2年生時実施の県調査結果)と比較すると、1時間未満の割合が1.8p減少した。
- ・家庭学習時間と正答率との相関性はみられない。
- ・家庭学習と授業の連動をすすめるとともに、家庭学習における学習の個別最適化による基礎・基本の定着を図る。



○学び方を自分で考え工夫する(中3) 割合(%)

	できていない	どちらかといえはできていない	どちらかといえはできている	できている	肯定的回答
全国	0.7	19.7	59.1	19.7	78.8
岡山県	3.4	20.2	48.5	27.4	75.9
美作市	2.8	19.2	50.1	27.4	77.5

- ・肯定的な回答は全国平均をやや下回っているが「できている」と回答した生徒は全国平均を大きく上回っている。
- ・生徒が「学び方」を身に付けられるような授業改善により、自律的な学びの促進を図る。



(全国学力・学習状況調査において明らかになった成果と課題及び改善のポイント)

【国語】

◎「言葉の特徴や使い方にに関する事項」の問題において、全国平均を上回った。(＋0.1p)

●文学的な文章を「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることや、集めた材料を整理し伝えたいことを明確にして「書くこと」に課題が見られた。

→叙述に基づいて読み、言葉や表現を吟味する言語活動の充実を図る。

【数学】

◎「数学が好き」という肯定的回答が全国平均を上回った。(＋9.7)

→生徒の意欲を高める授業改善の成果。

●「数と式」領域において「統合的・発展的に考察する」問題に課題が見られた。

→思考の過程において、「言葉と数を関連付ける」「多様な考えを関連付ける」、「条件を変えて考える」「他の場合でも成り立つか考える」など、数学的な「見方・考え方」を明確にして言語化する活動の充実を図る。

【学び力】

→授業や家庭学習において、生徒が自ら「学び方」を選択・決定したり、自己調整したりする場面を設定する。また、「教科の見方・考え方」を重視した授業改善を図るとともに、その「見方・考え方」を活用できる「探究的な学習」を積極的に取り入れる。

【その他】

○「自分にはよいところがある」の質問項目でも、肯定的な回答はほぼ全国平均並みである。

→教育活動全般において「自己選択」「自己決定」できる場面を設定し、過程を認める言葉かけや価値づけの工夫を行う。

●「将来の夢や目標をもっている」の質問項目では、肯定的な回答が全国平均を4p下回っている。

→学校運営協議会を活性化して地域との連携をすすめ、総合的な学習の時間等におけるキャリア教育の充実を図る。